

# Vision 1

## 創立150周年に向けた 中大ブランドの継承と新たな価値創造



創立150周年を迎える2035年に向けて、更に高めた本学の価値・伝統を次世代に継承していく。  
具体的には、建学の精神に基づく本学の存在意義と歴史的価値をステークホルダーに幅広く共有し、本学が誇る「伝統とネットワーク」をより強固なものとするとともに、総合学園としての更なる発展を目指す。  
また、本学の未来を象徴するキャンパスグランドデザインを策定し、創立150周年以降の発展を眺望できる新たなブランドを形成する。

### 10年後に目指すべき姿

2026  
→  
2035

- ◆ 学生・附属校生徒が誇りを持って本学で学び、帰属意識が育まれている
- ◆ 教職員一人ひとりが広報マインドを持ち、本学のブランド形成に貢献している
- ◆ 本学とステークホルダーとが互いに高めあい、支えあう存在となっている
- ◆ 本学アスリートの活躍が本学のブランド力向上に寄与している
- ◆ 次世代の学生を惹きつけるキャンパス構想が策定・公表されている
- ◆ 創立150周年記念事業を通じてステークホルダーとの関係が強化されている
- ◆ 創立150周年以降の発展を眺望できる本学の新たな価値・イメージを発信している

### 中長期戦略

戦略 1-1 本学の建学の精神や歴史への理解を通じた帰属意識の涵養

戦略 1-2 ステークホルダーとの良好かつ強固な信頼関係の構築

戦略 1-3 スポーツ振興による一体感・応援文化の醸成

戦略 1-4 次世代の教育研究のあり方を踏まえたキャンパスグランドデザインの策定

戦略 1-5 創立150周年以降の発展を眺望できる新たなブランディング

## 戦略 1-1

### 本学の建学の精神や歴史への理解を通じた帰属意識の涵養

本学の歴史的価値は、建学の精神に基づく教育研究活動のみならず、本学で学んだ人々の社会での貢献により形づくられてきたものである。

創立150周年に向けて、この重みをあらためて受け止め、教職員、学生・附属校生徒一人ひとりが、建学の精神や本学の歴史等への理解を深め、本学の一員であることに誇りを持てるような取組みを展開することが重要である。このような帰属意識を育むことで、教職員とともに、学生・附属校生徒が卒業後も本学を支える礎とする。また、父母等にも、本学の理念や活動への理解と共感を深め、誇りを感じるような施策を実施していくことが大切である。

そのためには、自校教育の実施や、教職員のインターナルコミュニケーションの更なる強化、法と正義の資料館・大学史資料館の活用等により、全ての構成員が本学の歴史や教育研究活動の成果を正しく理解し、新たな価値を創造しながら本学の歴史的価値を次世代へと継承していくことが不可欠である。

#### 中長期計画

学生・附属校生徒の帰属意識を涵養し、誇りを持って本学で学ぶ施策の実施

父母等への本学に対する理解と共感を促す施策の実施

教職員のインターナルコミュニケーション施策の実施

法と正義の資料館・大学史資料館を活用した施策の展開

## 戦略 1-2

### ステークホルダーとの良好かつ強固な信頼関係の構築

卒業生、地域、国際社会等の様々なステークホルダーへの恒常的な働きかけを可能とするネットワークを強化し、ステークホルダーと教職員がともに本学を支える良好で強固な信頼関係を構築する。

とりわけ、卒業生に対しては各種のイベント開催や情報提供等を一層深化させ、寄付などの本学への支援を喚起する。また、キャンパス所在地域をはじめとする地域社会との関係においては、本学の教育研究活動の成果である知的資産や施設の活用等を通じて新たな価値を生み出し、その価値を本学に還元することで、更に社会に開かれた活動を行う源泉とする。

#### 中長期計画

中長期事業計画「Chuo Vision 2035」の戦略的な広報展開

企業、地方公共団体、国際機関等との連携強化に向けた情報発信・交流イベント等の施策の実施

卒業生との信頼関係の構築に向けた校友活動の充実

創立150周年記念事業募金（仮称）を含む寄付金政策の実施

## 戦略 1-3

### スポーツ振興による 一体感・応援文化の醸成

大学スポーツは、スポーツの裾野を広げるとともに、人間の挑戦の可能性を広げるものであり、ウェルビーイングを重視する社会の形成において重要な要素である。また、学生アスリートが真摯に競技に打ち込む姿やその活躍を目にした際の感動は、愛校心の醸成にもつながり、更に大学スポーツ全体の発展に寄与するものといえる。

本学では、中央大学スポーツ憲章に基づき、スポーツ振興を推進し、教職員、学生・附属校生徒、卒業生、父母等および地域住民に一体感をもたらす応援文化を醸成するとともに地域交流の取組みを通じて社会へ貢献していく。あわせて、本学で活躍するアスリートの学業と競技の両立を図り、安心・安全な活動を進められるよう環境整備を進める。

#### 中長期計画

大学スポーツを通じた応援文化の醸成と地域交流を促進する施策の実施

学生アスリートの学修と競技活動の両立を実現する支援体制の確立

駅伝その他大学スポーツの振興による本学のブランディング強化

スポーツ振興、活動支援のための財源確保

## 戦略 1-4

### 次世代の教育研究のあり方を踏まえた キャンパスグランドデザインの策定

キャンパスが大学の役割にふさわしく整備されていることは大学ブランドの重要な要素である。次世代の教育研究のあり方や学生像を想定するとともに、国の政策動向を踏まえた新たな都心展開の可能性や将来の適正定員規模について十分な検討を行い、本学の新たな象徴となるような全学的なキャンパスグランドデザインを策定する。

#### 中長期計画

スポーツ情報学部（仮称）および情報農学部（仮称）に係る施設・設備の整備およびその状況把握・整理

2035年度以降の学生規模・教育組織・教員組織等のあり方の検討

キャンパスの整備理念に関する検討およびキャンパスグランドデザインの策定

## 戦略 1-5

### 創立150周年以降の発展を眺望できる 新たなブランディング

本学が日本と世界から必要とされる大学であり続けるためには、先人が築いてきた価値・伝統を継承するのみでなく、果敢に教育・研究・社会貢献に挑み続け、新たな価値創造を行う姿を発信し、多くのステークホルダーからの支持を得ることが重要である。

創立150周年という歴史的な節目を迎えることを契機として、文化の創造・発展と社会・人類の福祉に貢献する教育研究を推進し、「行動する知性（Knowledge into Action）」を備えた人材を育成することを通じて、創立150周年以降の発展を眺望する新たなブランディングを行う。

## 中長期計画

創立150周年以降を眺望できる新たな戦略的ブランディング施策の実施

創立150周年記念事業の実施